

Press Release

平成26年7月9日
日本公認会計士協会

開示・監査の一元化を検討するプロジェクトチーム の設置について

日本公認会計士協会では、会社法と金融商品取引法による開示・監査の一元化を検討するために、開示・監査制度一元化検討プロジェクトチーム（構成員長：山田治彦副会長）を設置した。

同プロジェクトチームの問題意識と検討スケジュールは以下のとおり。

問題意識

- ◆ 会社法と金融商品取引法による二元的な開示制度は我が国独自の制度
 - ◇ 有価証券報告書における開示後発事象の注記
- ◆ 開示の重複による計算書類と財務諸表の作成者及び監査人の負担
 - ◇ 不正リスク対応基準を踏まえた監査の実施の観点から

検討のスケジュール

- ◆ 年内を目途にあるべき開示・監査の方向性を示す予定
 - ◇ 関係各方面への働きかけ

以上